

愛知：平成29年クレーン等の労働災害発生状況（速報値）

（一社）日本クレーン協会東海支部

平成29年のクレーン等を起因物とする愛知県下の労働災害発生状況は、死傷者数に減少傾向が見られました。また、東海4県の労働局HP等による死亡災害の発生状況は次のとおりです。

同種災害の防止対策にご活用ください。

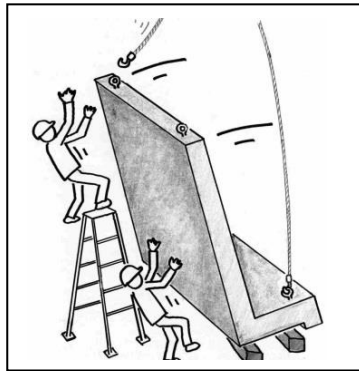
1 愛知：クレーン等を起因物とした死傷者数（各年）

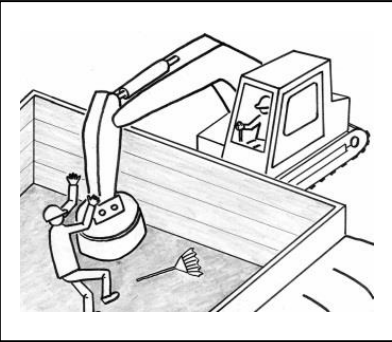

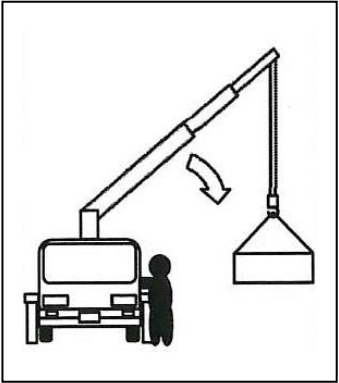
	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
死亡者数	0	1人	2人	1人	9人	0	4人	1人
負傷者数	138	155	130	122	148	144	131	
負傷者数（速報値：12月末現在の同期比）					145	134	123	116

2 同 種類別の死傷者数（26～29年）（括弧は死亡者数で内数：29年は速報値）

	クレーン	移ク	エレ	揚貨装置	その他	玉掛け	合計
平成26年	69 (3)	25 (4)	13 (1)	2	9	39 (1)	157 (9)
平成27年	57	27	12	0	9	39	144 (0)
平成28年	43 (1)	28	9 (2)	1	5	49 (1)	135 (4)
平成29年	43	26	12		2	34	83 (1)

3 東海4県における死亡災害の発生状況

	県	年月	発生状況
1	岐阜 1	29.2	<p>被災者を含む3名で、製品のコンクリート製L字型外壁材（重量約7.2t）を橋形クレーンを使用して運搬作業を行っていた。製品を地上に降ろして、同僚が脚立梯子を使用して上部の玉掛け用具を外した時、製品が倒れ、脚立梯子を支えていた被災者が製品とクレーンのサドルの間にはさまれた。</p> <p><同種災害を防止するための対策例> 荷の形状に応じた安全なクレーン作業手順を策定し、作業者に周知すること。</p> 

2	岐阜 2	29.2	<p>鉄屑を処理する事業場において、ドラグショベルにリフティングマグネットを装着した移動式クレーンを使用してトラックの荷台から鉄屑を下ろす作業を行っていたところ、近くで見ていたはずのトラック運転者の姿が見えなくなった。そのため、荷台の中を確認したところ、荷台後方で倒れている被災者を発見した。なお荷台の中には竹ぼうきが落ちていた。</p> <p><同種災害を防止するための対策例> 共同作業における作業標準を定め、関係者に周知し作業を行うこと。特に所属が異なる場合は徹底すること。</p>	
3	愛知 1	29.3	<p>RC造5階建て建設工事現場において、被災者が角鋼管約40本の束（重量約100kg）を玉掛けし、移動式クレーンを用いて屋上へつり上げようとしたところ、高さ約20mに達したところで束から約10本が抜け落ち、下方にいた被災者の頭部に落下した。</p>	 <p>参考：このイラストは実際の事故とは異なります。</p>
4	静岡 1	29.4	<p>工事現場事務所兼資材置場において、トラッククレーン（つり上げ荷重2.9t）による鉄骨材積み込み作業を被災者が単独で行っていたところ、2点吊りしていた玉掛け用の繊維ロープから吊荷（長さ4.1m重量約250kgと長さ3.4m重量約250kgの2束）が外れ、被災者にあたり、被災者が吊荷と共に墜落し、鉄骨材と地面に挟まれ死亡した。</p>	
5	岐阜 3	29.5	<p>積載形トラッククレーン（吊上荷重2.93t）で木材が入ったコンテナを（約2.2t）吊り上げ、移動させていたところ、当該クレーンが倒れ、操作していた被災者が当該クレーンの下敷きになった。</p> <p><同種災害を防止するための対策例> アウトリガーを最大まで張り出してクレーン作業を行うこと。 定格荷重より重い荷を吊らないこと。</p>	
6	静岡 2	29.10	<p>被災者は工場3階にて、1人で食品サンプルの整理を行っていた。被災者が終業時間を過ぎても職場に戻って来ないため、同僚らが探したところエレベーターピット内で倒れているのを発見した。当該エレベーター昇降路の3階扉が開いたまま、搬器が1階に停止した状態であったことから、3階の開いた扉から8m下のピット内に墜落したと思われる。</p>	

(注) 三重県内に対象事例はありません。